

千曲市武水別神社神官松田邸の開館について

平成29年9月6日の火災で焼損した松田邸は、火災後の建物等の修理工事が終了し、令和5年3月25日(土)に博物館施設として開館します。

- 1 施設名称 千曲市武水別神社神官松田邸
(ちくまし たけみずわけじんじゃ しんかんまつだてい)
- 2 所在地 千曲市大字八幡 3033-25
- 3 特徴 別紙のとおり

本件に関する問い合わせ先

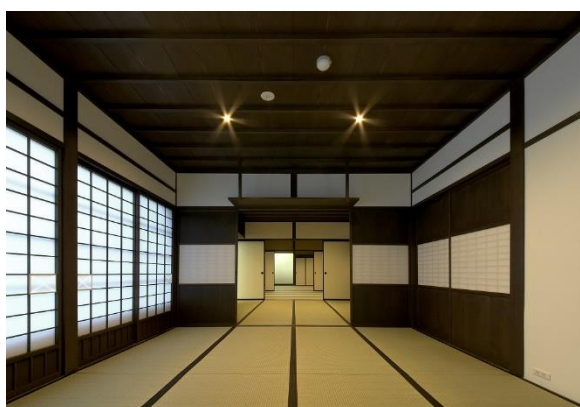
千曲市教育部 歴史文化財センター (所長)齊藤清行 (担当者)中島文晴
電話 026-261-3210 メールアドレス bunkazai@city.chikuma.lg.jp

千曲市武水別神社神官松田邸の特徴

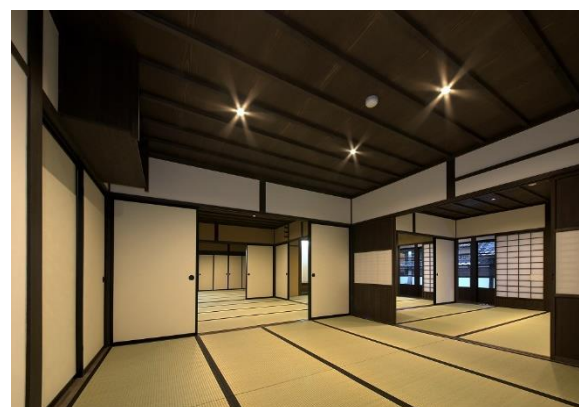
- 敷地には、中世の居館跡をしのばせる戦国時代の土塁や堀跡が残る。その敷地の上に、江戸時代から明治時代にかけて、神主屋敷としての特徴を持つ建物が建てられており、神主の住居として県内屈指の屋敷構えを持っている。
- 主屋には、①天井が低く、差鴨居(さしがもい)や長押(なげし)をほとんど用いないなど、武家住宅のような趣きがある、②土間が表から裏まで通る民家建築とは異なる間取りとなっている、③祭事を行う「斎館」との接続部分には、潔斎をする「湯殿」が付属しているなどの神主屋敷としての特徴がある。
- 敷地内の建物は、主屋を中心に、北側は私的、南側は公的な建物配置となっている。
- 主屋内も中心から北側はプライベート空間、南側は執務空間となっている。



外観全景(南東面)



土間から座敷までが一直線に並ぶ



中の間から客間(左)と居間を望む(右)